

2012年度事業・活動計画

<1> 2012年度事業・活動計画にあたっての基本的考え方

日本ファンドレイジング協会は、日本社会における寄付文化の革新を目指し、2009年2月に発足した。

2010年度は、日本ファンドレイジング協会にとって、本格的に稼働後、2年度目にあたり、初年度のセミナー・研究会や、「ファンドレイジング日本・2010」の成功をバネにして、更なる寄付市場の形成に向けて、寄付白書の創刊、ファンドレイジング行動基準の策定などの取り組みを行った。

2011年度は、これまでの成果と蓄積した「知」を集約させて、認定ファンドレイザー制度を発足させた。合わせて、「2020年10兆円寄付市場」の実現にむけて、未来の寄付者を育てる「寄付の教室」のモデル事業を本格展開した。

2012年度は、認定ファンドレイザー制度の本格運用、その下級資格として、「寄付の教室」のファシリテーター育成を兼ねた「フィランソロピーガイド検定（仮称）」の開始、さらに「ファンドレイジング日本・2013」の開催規模の拡大によって事業収益を安定化させてることを目指す。

2012年度事業のポイント

■「認定ファンドレイザー」制度の展開

- 資格取得者を各種事業内で登用して可視化
- 下級資格「フィランソロピーガイド（仮称）」制度の開始

■地域との連携

- 認定ファンドレイザー研修と新しい公共支援事業との関連で、地域の関連機関との連携を強化する

■フィランソロピー教育「寄付の教室」本格事業化

- 教育現場だけではなく、自治体や証券業界等の金融教育とも連携
- 「フィランソロピーガイド（仮称）」制度を通じたファシリテーターの養成

1 ファンドレイジング大会の開催

- (1) 実施時期： 2013年3月(毎年開催・第4回)
- (2) 内容：NPO関係者、社会起業家、企業社会貢献室担当者など1000名を対象に2日間開催。
- (3) 会場：両国駅近くの「KFCホール」

2 フィランソロピー教育の実施

- (1) 年間20校で実施
- (2) 「フィランソロピーガイド（仮称）」制度を通じたファシリテーターの養成
- (3) 金融教育の一つとしても展開

3 ファンドレイジングジャーナルの発行

- (1) 発行時期： 年4回（季刊）
- (2) 内容： 国内・海外のファンドレイジングの事例やニュースを発信。
- (3) 発行部数：1000部

4 研修事業

- (1) セミナー（全3回予定・一般向け・定員150名）の開催
- (2) 研究会（毎月1回・会員限定・定員30名）の開催
- (3) 認定ファンドレイザー研修の開催

5 「寄付白書2012」の発行

- (1) 実施時期： 2012年12月
- (2) 内容：「東日本大震災と寄付」を特集
- (3) 発行部数：3000部

6 認定ファンドレイザー資格制度の本格運用

- (1) 連携組織の開拓と拡大
- (2) 資格取得者の協会諸事業での登用を図ることで可視化を行う

7 普及啓発、その他

- (1) 「休眠口座」に関する研究と啓発
- (2) 諸外国の寄付に関する調査
- (3) 認定NPO法人格取得を目指して仮認定の申請を行う

<3> 組織基盤のさらなる強化

1 事務局体制

事務局長のもと4名が常勤、週1～2回のアルバイトが2名。この体制に加えて、専門的知識をもった契約職員、プロボノ、インターンなどを募って、より多くの人を巻き込みながら各種事業遂行を図る。毎月1回、ボランティアデーを開催

2 会員拡大

2012年度会員数目標550名（2011年度末455名）

2012年度 収支予算

科 目		2012年度予算額	
	大科目	中科目	
■収入の部■			
	会費収入		
		運営会員	1,680,000
		賛同会員	4,200,000
	小計		5,880,000
	事業収入		
		ファンドレイジング大会参加費	10,000,000
		研究会・講演会参加費	3,600,000
		初級ファンドレイザー検 定料	2,000,000
		書籍・雑誌販売	1,500,000
		講師派遣等	3,000,000
		委託事業収入	10,000,000
	小計		30,100,000
	寄付金収入		
		一般寄付	4,000,000
		寄付白書基金	1,000,000
	小計		5,000,000
	助成金・委託費		
		日本財団	23,500,000
		その他	1,000,000
	小計		24,500,000
	受取利息収入		5,000
			5,000
収入合計			65,485,000

■支出の部■			
事業支出			
	1. 他セクターとの関係強化		
	ファンドレイジング大会		
		補助作業者給与(契約+ アルバイト)	1,500,000
		会議費	4,500,000
		業務委託費	150,000
		諸謝金	1,200,000
		印刷製本費	2,000,000

		旅費交通費	1,000,000	
		広告宣伝費	800,000	
		通信運搬費	300,000	
		雑費	100,000	
	小計			11,550,000
	2. 研修(セミナーと研究会)			
		通信運搬費	100,000	
		諸謝金	500,000	
		印刷製本費	300,000	
		旅費交通費	380,000	
		業務委託費	200,000	
		会議費	100,000	
		雑費	100,000	
	小計			1,680,000
	3. 出版			
	1) ジャーナル			
		印刷製本費	2,800,000	
		通信運搬費	100,000	
		旅費交通費	50,000	
		諸謝金	800,000	
		雑費	100,000	
	小計			3,850,000
	2) 寄付白書			
		補助作業者給与	1,500,000	
		印刷製本費	960,000	
		委託費	3,000,000	
		諸謝金	2,700,000	
		雑費	100,000	
	小計			8,260,000
	4. フィランソロピー教育			
		補助作業者給与	1,500,000	
		印刷製本費	800,000	
		業務委託費	300,000	
		会議費	200,000	
		諸謝金	100,000	
		旅費交通費	480,000	
		雑費	100,000	

	小計		3,480,000
	5. 認定ファンドレイザー資格制度(認定・准認定の研修と試験、入門版のフィランソロピーガイドの設計)	補助作業員給与	2,880,000
		諸謝金	1,100,000
		印刷製本費	1,400,000
		通信運搬費	200,000
		備品消耗品	300,000
		資料代	300,000
		雑費	100,000
	小計		6,280,000
	6. ファンドレイジングネット運営	補助作業員給与	400,000
		会議費	100,000
		通信運搬費	240,000
		業務委託費	100,000
		雑費	50,000
	小計		890,000
	7. その他事業支出 (講師派遣・受託事業など)	旅費交通費	1,000,000
		会議費	100,000
		諸謝金	1,000,000
		通信運搬費	30,000
		印刷製本費	500,000
		業務委託費	600,000
		小計	
	8. 事業部門人件費	給与	8,560,000
	小計		8,560,000
事業支出合計			<u>47,780,000</u>
一般管理費			
		補助作業員給与	3,000,000
		法定福利厚生費	1,200,000
		福利厚生費	400,000
		業務委託費	500,000
		通勤費	800,000
		通信運搬費	700,000
		地代家賃	2,520,000
		水道・光熱費	200,000

		印刷製本費	600,000	
		研修費	120,000	
		旅費交通費	800,000	
		備品消耗品	800,000	
		資料代	200,000	
		諸会費	50,000	
		会議費	100,000	
		租税公課	200,000	
		支払手数料	500,000	
		雑費	200,000	
	一般管理費支出小計			12,890,000
	支出合計			<u>60,670,000</u>
		当期収支差額		4,815,000
		前期繰越収支差額		21,221,635
		次期繰越収支差額		26,036,635